



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月30日

上場会社名 綿半ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3199 URL <https://watahan.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野原 勇
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 有賀 博 TEL 03-3341-2766
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	96,144	△4.4	2,180	3.5	2,485	△3.4	1,522	9.5
2023年3月期第3四半期	100,593	18.4	2,108	27.0	2,572	21.4	1,390	△13.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,364百万円 (△7.9%) 2023年3月期第3四半期 1,481百万円 (△10.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	76.45	-
2023年3月期第3四半期	69.95	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	80,269	22,228	27.7	1,115.26
2023年3月期	84,202	21,251	25.2	1,068.23

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 22,228百万円 2023年3月期 21,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	22.00	22.00
2024年3月期	-	0.00	-		
2024年3月期（予想）				23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,000	2.8	2,724	13.4	3,120	2.0	1,850	11.9	92.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	19,931,196株	2023年3月期	19,894,434株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	296株	2023年3月期	296株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	19,916,061株	2023年3月期3Q	19,879,065株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響の緩和により、経済活動の回復が進んでおります。その一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や、中国をはじめとする海外景気の下振れ等、わが国の景気を下押しするリスクが存在しております。

綿半グループが関係する事業環境のうち、小売事業では、気候変動や物価上昇による消費行動の変化のほか、業種を超えた販売競争も激しさを増している状況にあります。

建設事業では、景気が緩やかに回復する中、企業による設備投資は緩やかに増加しているため、市況は堅調に推移いたしました。一方で、住宅市場においては、新築住宅着工戸数が減少傾向にあり、厳しい事業環境が続いております。

貿易事業では、新型コロナウイルス感染症による行動制限の解除により、化粧品市場においては各種製品の需要が回復傾向にあります。しかしながら、医薬品市場では毎年の薬価改定による薬価の抑制リスクがあり、先行き不透明な事業環境となっております。

このような状況下におきまして、経営理念である「合才の精神」に基づき、持株会社である当社をグループの中核として、各グループ会社が最大12%の賃上げをはじめとする人的投資に積極的に取り組むほか、事業価値の向上、新規事業領域の創出に努め、時代の流れに適合した事業ポートフォリオの構築に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は961億44百万円（前年同四半期比4.4%減）、営業利益は21億80百万円（同3.5%増）、経常利益は24億85百万円（同3.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益については15億22百万円（同9.5%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(小売事業)

小売事業では、スーパーセンター、ホームセンター、食品スーパー、ドラッグストア、インターネット通販等多様な業態を展開しており、重点施策として「店舗改装・新業態の開発を継続して推進」「流通網の拡大」「オリジナル商品の開発・SPA化の加速」に取り組んでまいりました。

「店舗改装・新業態の開発を継続して推進」の取組みとして、6月に人とペットのための総合ドラッグストア『ウェルネスライフガーデン』を新たにオープンいたしました。また、調剤薬局『わたびー薬局』の導入を拡大しております。

「流通網の拡大」では、世界各地から食料品を直接仕入れるなど、新たな仕入先の開拓に注力いたしました。また、漁船で採れた魚を丸ごと買付ける「一船買い」の取組みも引き続き行っております。今後も鮮度の高い魚介類を低価格でお客さまに提供できるよう取り組んでまいります。

「オリジナル商品の開発・SPA化の加速」では、食品や日用品、ペット用品等オリジナル商品の開発に注力いたしました。

一方、世界的な原材料価格高騰が続く中、お客さまの生活応援のため、生活に欠かせない600商品の値下げを行いました。

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高については601億53百万円（同1.5%増）、セグメント利益は11億3百万円（同13.0%増）となりました。

(建設事業)

建設事業では、木造建築、鐵構、屋根外装改修、自走式立体駐車場等を展開しており、「木材の加工・流通網の構築」「木を使った商品開発の推進」「鉄骨分野の海外ネットワークの構築」を重点施策として取り組んでまいりました。

「木材の加工・流通網の構築」では、綿半林業が有する原木の仕入からプレカットまで行う製造機能を活かし、長野県産の木材の有効活用による地域経済の活性化に注力しております。

「木を使った商品開発の推進」では、柱のない開放的な空間を短工期で実現した、木造システム建築『PRESTWOOD』の販売を5月に開始したほか、6月には介護施設や保育施設等の非住宅木造建築の販売を開始いたしました。

「鉄骨分野の海外ネットワークの構築」では、近年の鉄骨需要の拡大と物件大型化に対応するため、ミャンマー、大連に加え、新たにベトナムにCADセンターを開設いたしました。教育プログラムによる設計支援の強化やDX化による作業効率化を図り、生産性向上に取り組んでまいります。

そのほか、超軽量太陽光システム『LIGHTON SOLAR』の販売を7月に開始いたしました。従来、荷重負荷などが原因で設置を諦めていた屋根に対しても、太陽光発電設備の設置が可能となりました。今後もカーボンニュートラルの実現に向け、さらなる製品開発を続けてまいります。

当第3四半期連結累計期間における業績は、前期に大型物件が集中した影響による反動減及び住宅市況の低迷等により、売上高は290億23百万円（同20.8%減）、セグメント利益は6億33百万円（同54.2%減）と前年同四半期対比では減収減益となりました。

（貿易事業）

貿易事業では、世界20カ国以上から天然由来の医薬品・化成品原料の輸入販売、不妊治療薬の原薬製造等を行っており、「食品分野への進出」「肥料・飼料分野の拡大」を重点施策として取り組んでまいりました。

「食品分野への進出」では、小売事業と連携し、メキシコから輸入しているウチワサボテンを使用したオリジナル商品を開発するなど、海外ネットワークを活かした食品の輸入販売に注力いたしました。また、中部大学とウチワサボテンの国内栽培に関する研究を開始いたしました。

「肥料・飼料分野の拡大」では、100%天然植物由来の動物飼料添加物を使用した飼料の研究開発を進めております。

そのほか、海外原料の安定供給への取組みや不妊治療薬の原薬製造の安定化・高品質化に向けた精製率を高める方法の研究開発に引き続き取り組んでまいります。

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は60億22百万円（同50.7%増）、セグメント利益は10億22百万円（同189.5%増）となりました。

（その他）

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。売上高は9億45百万円（同41.4%増）、セグメント利益は1億10百万円（同5.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、39億32百万円減少し、802億69百万円（前期末比4.7%減）となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ21億81百万円減少し、454億39百万円（同4.6%減）となりました。主な要因は、現金及び預金が26億4百万円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が55億18百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ17億50百万円減少し、348億30百万円（同4.8%減）となりました。主な要因は、のれんが3億93百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ49億8百万円減少し、580億41百万円（同7.8%減）となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が39億55百万円増加した一方、短期借入金が83億97百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ9億76百万円増加し、222億28百万円（同4.6%増）となりました。主な要因は、剰余金の配当により4億37百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により15億22百万円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は27.7%（前連結会計年度末は25.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,088	5,693
受取手形、売掛金及び契約資産	24,431	18,913
商品及び製品	12,913	13,293
仕掛品	294	943
原材料及び貯蔵品	2,983	3,806
その他	3,924	2,803
貸倒引当金	△14	△14
流動資産合計	47,621	45,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,583	14,115
土地	11,366	10,999
その他（純額）	2,347	2,362
有形固定資産合計	28,297	27,477
無形固定資産		
のれん	1,310	917
その他	593	527
無形固定資産合計	1,904	1,444
投資その他の資産		
その他	6,501	6,039
貸倒引当金	△122	△131
投資その他の資産合計	6,379	5,908
固定資産合計	36,581	34,830
資産合計	84,202	80,269

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,760	22,715
短期借入金	15,504	7,106
未払法人税等	798	305
賞与引当金	889	451
工事損失引当金	21	20
完成工事補償引当金	63	48
その他	6,677	7,053
流動負債合計	42,713	37,701
固定負債		
長期借入金	14,313	14,451
退職給付に係る負債	2,547	2,611
資産除去債務	1,929	1,953
その他	1,445	1,323
固定負債合計	20,236	20,339
負債合計	62,950	58,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051	1,076
資本剰余金	656	681
利益剰余金	18,535	19,620
自己株式	△0	△0
株主資本合計	20,242	21,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	980	805
繰延ヘッジ損益	△7	11
退職給付に係る調整累計額	36	32
その他の包括利益累計額合計	1,008	850
純資産合計	21,251	22,228
負債純資産合計	84,202	80,269

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	100,593	96,144
売上原価	79,669	75,381
売上総利益	20,924	20,763
販売費及び一般管理費	18,816	18,582
営業利益	2,108	2,180
営業外収益		
受取利息	4	14
受取配当金	32	42
受取補償金	66	46
出資金運用益	202	85
その他	231	248
営業外収益合計	538	438
営業外費用		
支払利息	48	54
その他	25	79
営業外費用合計	74	134
経常利益	2,572	2,485
特別利益		
固定資産売却益	4	187
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	8	187
特別損失		
固定資産除売却損	39	29
減損損失	43	133
投資有価証券評価損	11	—
抱合せ株式消滅差損	—	26
特別損失合計	94	189
税金等調整前四半期純利益	2,486	2,483
法人税、住民税及び事業税	1,022	664
法人税等調整額	73	296
法人税等合計	1,095	961
四半期純利益	1,390	1,522
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,390	1,522

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,390	1,522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107	△174
繰延ヘッジ損益	△15	19
退職給付に係る調整額	△1	△3
その他の包括利益合計	91	△158
四半期包括利益	1,481	1,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,481	1,364

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	建設事業	貿易事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	59,169	36,606	3,994	99,770	371	100,141
その他の収益	103	51	—	154	297	451
外部顧客への売上高	59,273	36,657	3,994	99,925	668	100,593
セグメント間の内部売上高又は振替高	54	1	12	68	0	68
計	59,327	36,658	4,007	99,993	668	100,662
セグメント利益	976	1,381	353	2,711	116	2,827

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,711
「その他」の区分の利益	116
セグメント間取引消去	△2
全社費用(注)	△717
四半期連結損益計算書の営業利益	2,108

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費となっております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	建設事業	貿易事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	60,055	28,958	6,022	95,036	532	95,569
その他の収益	97	65	—	162	412	575
外部顧客への売上高	60,153	29,023	6,022	95,198	945	96,144
セグメント間の内部 売上高又は振替高	155	2	8	167	104	271
計	60,308	29,026	6,030	95,365	1,050	96,416
セグメント利益	1,103	633	1,022	2,759	110	2,869

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,759
「その他」の区分の利益	110
セグメント間取引消去	7
全社費用（注）	△696
四半期連結損益計算書の営業利益	2,180

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費となっております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	小売事業	建設事業	貿易事業	計	その他	全社・消去	合計
減損損失	133	—	—	133	—	—	133

(のれんの金額の重要な変動)

「小売事業」において、のれんの減損損失を計上したため、のれんの金額が減少しております。当該事象におけるのれんの減少額は101百万円であります。なお、上記（固定資産に係る重要な減損損失）に当該のれんの減損も含めて記載しております。